

12月



日	月	火	水	木	金	土
<p>休日急患診療</p> <p>詳しくは 20ページへ</p>	<p>健康</p> <p>★マークは 会場・問合せ 健康管理センター ☎25-5311</p> <p>✳母子健康手帳 を持参</p>	<p>1</p>	<p>2</p> <p>心配ごと相談 法律相談 人権相談</p> <p>3歳児健診 ★ 受付 13:00~13:45</p>	<p>3</p> <p>消費生活相談</p>	<p>4</p> <p>こころの相談日 (P16)</p>	<p>5</p> <p>人間関係学講座4 (P13)</p> <p>休日エイズ相談・ 検査 (P16)</p> <p>パパと遊ぼう (P18)</p>
<p>6</p> <p>せきクリニック ☎21-2000</p>	<p>7</p>	<p>8</p> <p>結婚・婦人相談</p> <p>7か月児すくすく相談★ 受付 9:30~10:00 13:15~13:45</p> <p>すくすく健康相談 (P18)</p>	<p>9</p> <p>心配ごと相談 行政相談</p> <p>1歳6か月児健診 ★ 受付 13:00~13:30</p>	<p>10</p> <p>総合健診</p>	<p>11</p> <p>敦短のクリスマス コンサート (P15)</p> <p>農産物直売会 ~12日 (P15)</p>	<p>12</p> <p>市民歴史講座 (P13)</p> <p>つるがクラフト マーケット2009 ~13日 (P14)</p> <p>こころの健康普及 活動講演会 (P16)</p> <p>おはなしポンポン (P17)</p>
<p>13</p> <p>神谷医院 ☎22-4874</p>	<p>14</p> <p>ママパパセミナー★ (マタニティライフコース) 13:30~16:00</p> <p>育児サポート教室 (P18)</p>	<p>15</p> <p>結婚・婦人相談</p> <p>3歳児健診 ★ 受付 13:00~13:45</p>	<p>16</p> <p>心配ごと相談 法律相談 人権相談</p> <p>1歳6か月児健診 ★ 受付 13:00~13:30</p>	<p>17</p> <p>消費生活相談</p> <p>2歳の歯の 健康セミナー ★ 10:30~12:00</p> <p>1歳の親子 歯ッピーセミナー ★ 13:00~14:30</p>	<p>18</p> <p>ママのおひざ (P17)</p> <p>クリスマス会 (P19)</p>	<p>19</p> <p>クリスマスのつどい (P17)</p>
<p>20</p> <p>はぎはら整形外科 ☎20-0811</p>	<p>21</p>	<p>22</p> <p>補聴器・車いす等の 相談 (P16)</p> <p>すくすく健康相談 (P18)</p>	<p>23 天皇誕生日</p> <p>おはなしわたげ (P17)</p> <p>お正月飾り工作 (P19)</p> <p>和久野医院 ☎22-3080</p>	<p>24</p>	<p>25</p>	<p>26</p> <p>おはなしポケット (P17)</p>
<p>27</p> <p>いちはし整形外科 ☎20-1825</p>	<p>28</p>	<p>29</p>	<p>30</p>	<p>31</p>	<p>相談</p> <p>詳しくは 21ページへ</p> <p>行事</p> <p>詳しくは ()のページへ</p>	

上記カレンダーは10月31日現在のものです。今後の行事などは行政チャンネルでお知らせします。

今月の表紙

秋風とともに松原を快走!

第30回敦賀マラソンが行われ、過去最多の3,505人が健脚を競いました。10kmと5kmの部では、参加者らが市街地を通り抜け、気比の松原の中を快走。また、アテネ五輪金メダリストの野口みずきさんがゲストとして参加し、ランナーたちとともに2kmの部を走りました。(11ページ参照)

人口 68,893人(前月比+14人) 世帯数 27,704世帯
男 33,746人 女 35,147人 (平成21年10月29日現在)

編集後記

▶すっかり秋ですね。昼は暖かいのに夜になると寒い!なんてこともしばしば。インフルエンザ(新型に加え季節性も)の心配もあるので、皆さん体調管理には十分注意を。ちなみに私は前回の冬、見事季節性のインフルエンザにかかり数日間自宅療養、楽しみにしていた新年会でのおいしい食事を泣く泣く諦めた悲しい思い出があります。今年は絶対二の舞にだけは……。 (み)

▶認知症。実は私の祖母も最近怪しい状態です。名前を間違えたり金を盗られたと騒いだり…。まさしく聞いていた症状です。しかも父や母は、イライラして怒ったり治療をあきらめていたり、予想通りの反応をみせません。それを見て、認知症のことを知っているかどうかで大事ななあ、とつくづく感じました。今回の特集で皆さんが少しでも認知症のことを「考えて」くれることを願います。(赤)